

国指定鳥獣保護区における渡り鳥の状況について

	国指定鳥獣保護区 名	主な渡り鳥の種類 〈飛来期間〉 ※1	現在の渡り鳥の主な種類 及び羽数(概数) ※2	備 考 ※3	※ 4
北海道	はまどんべつ 浜頓別クッチャロ湖 (浜頓別町)	コハクチョウ、 マガモ、オナガガモ	コハクチョウ 800 羽、 マガモ・オナガガモ 300 羽	※主に渡去の中継地 越冬中、90 %以上凍結 したためか、種類が減少。 (3/1 現在)	北海道
	みやじまめま 宮島沼 (美瑛市)	マガモ 約 5 ～ 6 万羽 〈秋期 9 月下旬 ～ 10 月 下旬、春期 4 月〉 他にオナガガモ等、 コハクチョウ等	無し	※主に渡去の中継地 湖面は結氷、積雪状態。 (3/2 現在)	
	ウトナイ湖 (苫小牧市)	ハクチョウ類 〈11 月上 ～ 1 月上旬〉、マガモ類 〈10 月 上 ～ 1 月上旬〉 など	オナガガモ 700 羽、 オナガガモ 1000 羽	※主に渡去の中継地 ハクチョウ、マガモの飛来が多 く、越冬鳥類が終結して きている傾向にある。 (3/2 現在)	
	とうふつこ 濁沸湖 (網走市、小清水町)	オナガガモ、マガモ類 〈10 月 ～ 4 月〉 オナガガモ、マガモ	オナガガモ 200 羽 オナガガモ等 500 羽 オナガガモ、マガモ 各 1 羽	※主に渡去の中継地 オナガガモ等に渡去が始ま り動きが活発になってき ている。(3/6 現在)	釧路
	ふうれんこ 風蓮湖 (根室市、別海町)	オナガガモ、マガモ類 〈10 月 ～ 4 月〉 オナガガモ、マガモ	オナガガモ 300 羽 マガモ 100 羽	※主に渡去の中継地 越冬中。湖の結氷が例年 より早くゆるんでいる。 (3/6 現在)	
	あつげし べかんべうし 厚岸・別寒辺牛・ 霧多布 (厚岸町、浜中町)	(厚岸湖側) オナガガモ、カ マガモ類 〈10 月 ～ 4 月〉 オナガガモ、マガモ	オナガガモ 2200 羽 オナガガモ 100 羽 マガモ 10 羽 (羽数は 2/25 現在)	※主に渡去の中継地 渡去の動きがみられる。 (3/6 現在)	
		(霧多布側) オナガガモ、カ マガモ類 〈10 月 ～ 4 月〉 オナガガモ、マガモ	オナガガモ 400 羽、 マガモ 1200 羽以上、 マガモ 19 羽	※主に渡去の中継地 オナガガモは渡去中。マガモ は渡去により羽数が増 加。昨年よりマガモの渡去 が早い。(3/6 現在)	
青森県	こみなと 小湊 (平内町)	オナガガモ、オナガガモ、 キンクロハシロ、マガモ	オナガガモ 270 羽 オナガガモ 1500 羽 キンクロハシロ 70 羽 マガモ 60 羽	越冬中であり、渡去はみ られない。 (2/28 ～ 3/1)	東北

秋田県	大潟草原 (大潟村)	マガモ、マカモ等雁類 ＜10 月上～3 月下旬＞ コハクチョウ等ハクチョウ類 ヒシイ、マガン ＜10 月下～3 月下旬＞	マガモ 200 羽、マカモ 100 羽 コハクチョウ 50 羽、 ヒシイ 300 羽、 マガン 100 羽	ハクチョウ類には 2/20 頃より、ヒシイ・マガンには 2/22 頃より渡去の動きがみられる。雁類は越冬中。 (2/27 現在)	
宮城県	伊豆沼 (栗原市、登米市)	マガン 3 万羽 ＜10 月下旬～3 月＞	マガン、雁類、ハクチョウ類 6,800 羽	越冬中。 (2/28 現在)	
山形県	最上川河口 (酒田市)	オカガモ、オシロ、キンロハシ等雁類 オハクチョウ、コハクチョウ ＜10 月中～4 月中旬＞	オカガモ 13,000 羽 オシロ 800 羽 キンロハシ 100 羽 オハクチョウ 2,000 羽 コハクチョウ 1,500 羽	現在越冬中だが、2/13 から渡去が始まったところ。(3/2 現在)	
新潟県	佐潟 (新潟市)	コハクチョウ、オハクチョウ マガモ、オカモ等雁類	コハクチョウ 200 羽 マガモ 700 羽 オカモ 500 羽	2 月上旬から渡去が始まり、ハクチョウ類がほとんど渡去し、雁類も減少。 (3/2 現在)	関東
石川県	片野鴨池 (加賀市)	雁類＜9 月上～4 月中旬＞、マガン＜9 月上～3 月上旬＞、コハクチョウ＜10 月中～3 月下旬＞	雁類 800 羽 マガン 1800 羽 コハクチョウ 220 羽 ヒシイ 14 羽	越冬中。2 月に入って渡去が始まっている。 (3/4 現在)	中部
愛知県	藤前干潟 (名古屋市の飛島村)	スズガモ、オカガモ等雁類＜10 月中～3 月上旬＞ ハマシギ 3000 羽＜10 月初旬～5 月初旬＞	スズガモ 1,000 羽 ハマシギ 1,000 羽、 ダイゼン 100 羽	全体として例年より早めの渡去がみられる。 (3/2 現在)	
兵庫県	浜甲子園 (西宮市)	雁類 ＜9 月中～4 月下旬＞ シギ・チドリ類 ＜4 月中～5 月下旬＞	雁類 800 羽	越冬中。一部数に減少がみられる。 (2/27 現在)	近畿
鳥取県・島根県	中海 (米子市、境港市、安来市、松江市、東出雲町)	雁類 約5 万羽 ＜10 月中～4 月末＞	雁類及びコハクチョウ 12,800 羽	コハクチョウが渡去中であり、一部の雁類にも渡去がみられる。 (2/24 ～28 確認)	中国・四国
島根県	宍道湖 (松江市、出雲市、斐川町)	マガン、コハクチョウ、雁類 約4 万羽 ＜10 月中～4 月末＞	(西岸) マガン、コハクチョウ、雁類、 2,434 羽	コハクチョウは渡去中であり、一部の雁類にも渡去がみられる。 (2/26 ～28 現在)	

福岡県	わしろひがた 和白干潟 (福岡市)	ヒドリガモ、マガモ等雁類 ＜10月～3月＞ ハマヅルなどヅル類 ＜9月～4月＞	ヒドリガモ 50羽 マガモ 30羽	カモ類が渡去により徐々に少なくなっている。 (3/2 現在)	九州
宮崎県	きりしま みいけ 霧島＜御池＞ (都城市、高原町)	マガモ等雁類 ＜10月～4月＞	ヒドリガモ 100羽、 マガモ 500羽、カマガモ 50羽 オカガモ 100羽、 キンクロハシロ 30羽	越冬中であり、渡去は見られない。(3/2 現在)	
鹿児島県	いずみ たかおの 出水・高尾野 (出水市)	ナベヅル、マナヅル等ヅル類 ＜10月～3月＞ ヒドリガモ、マガモ等雁類 ＜10月～3月＞	ナベヅル 5000羽 マナヅル 150羽 ヒドリガモ 1200羽 マガモ 150羽	ヅル類、雁類の渡去が本格化している。マナヅルは越冬数の9割方が渡去した。 (3/2 現在)	

注：標記の内容は、各保護区を管轄する環境省の各地方環境事務所等が、業務報告や地域等からの聞き取り等により収集した保護区内の渡り鳥の状況を取りまとめたものである。

※1：業務報告、聞き取り等により推定した一般的な例年の状況である。

※2：情報収集した時点で可能な限り把握した内容であり、分布状況、地形、時間、天候等により確認不能な場合があるため、全てを確認したものではない。

※3：情報収集時点で推定される状況を、業務報告や聞き取り等により把握したものである。

※4：標記の各保護区を管轄する地方環境事務所及び自然環境事務所。